

福井県高P連会報

発行人 福井県高等学校PTA連合会
(福井県生活学習館「ユー・アイふくい」内) 掛谷龍一



福井県高等学校総合文化祭 日本音楽部門 金賞 啓新高校

十一月十二日(土)、福井県織協ビルに百六十一名の会員が参加して、本年度の「研究大会」が開催された。開会行事では、掛谷龍一會長が「東日本大震災に、全国の高P連から一億円を超える義援金が集まつた。多くの仲間が手を結び、助け合うことが大切だ。福井高P連は創立五〇周年、全国大会と大きな事業が控えているが、各校PTAの力を結集して進めていきたい。」と挨拶された。続いて来賓の県教育庁松田通彦企画幹が「折角の機会ですから、高校教育の当面する課題と対応についてお話ししたい」と、①学力向上②就職指導③職業教育の充実



研究大会は二部編成で、それぞれ二つの講演があつた。
第一部は、「サイバー犯罪について」と題して県警本部生活環境課サイバー犯罪対策支援室長佐藤寿記氏の、また同課生活経済担当課長補佐松田和博氏の講演が行われた。

佐藤氏は、「IT時代の現在、携帯電話やパソコンは生活必需品であるが、使い方を間違えると思いがけない落とし穴がある。現在八〇%の国民がインターネットを利用し、携帯電話も殆どの中学生が持つていて、ブログやプロフにアクセスしたり情報発信、受信を行つたりしている。それに伴い『サイバー犯罪』に関する相談も多くなつて

④高校再編 ⑤生徒指導 ⑥競技力の向上の六点について説明され、「研究大会の成功と高P連の益々の発展を祈念します。」と結ばれた。次いで、県高等学校長協会副会長の西永嘉和三国高校校長が「東日本大震災を契機に、躊躇することなく、スピード感をもつて、新たなものの構築に当たりうとする気運が高まつてゐる。そのためにも、PTAと教職員が協力して、学校の体力を高めていかなければならぬ。」と述べられた。

**手を結び、助け合って!
「研究大会」盛大に開催**



士で友達ができ、そこに情報を流して被害に遭う件数が増えてきている。現在では、『出会い系サイト』による被害のほうが多くなっている。個人情報は載せない・怪しいところには近づかない・書かれていることを鵜呑みにせず、情報を選択する能力をつけることが大切である。』と話され、

次いで松田氏は、消費者トラブルを中心として話された。「悪質商法はウソツキ」という言葉から入られ、(うまい話には乗らない)の相談するついで返事をするのをやめる(つきっぱり)といふ語呂合わせでの対処法を説明された。「平成二十二年度の福井県消費者センター等への苦情相談は、三千六百件を超える中でもインターネットを通販関連の苦情が大半を占め、年齢層も十代二十代が殆どである。クーリングオフ制度を、上手く利用してトラブルを未然に防ぐことが大切であるが、それでもトラブルが発生した場合には、警察・消費者センターへ早期

に相談してほしい。』と話された。

第二部は、最初に「災害救護活動（東日本大震災）について」～人間を救うのは、人間だと題して日赤福井県支部総務課長山本裕行氏の講演が行われた。氏は、日本赤十字社の活動を、実例を挙げながら話を進められた。「赤十字は災害救護活動を最も大きな事業とし取り組んでいるほか、国際救護活動・応急手当等の講習事業・医療・血液事業など様々な活動を開けていた。東日本大震災に対して、赤十字では会社を挙げて救護活動を最優先に取り組んできた。国が災害救助を発令しようがしまいが、赤十字は災害時には率先して、救護班が出動したり、毛布や緊急セットの救援物資を配布したりすることになる。災害発生時には、赤十字と市町や地域住民との連携が欠かせない。今回の東日本大震災にもあるように、地域住民が助け合う『共助』

その殆どは病気治療のための血液として使われている。日本全国で一日一万人分の血液が必要だ。輸血を必要としている患者の八十五%が五十歳以上であるのに対し、献血者の八十%が三十歳以上で、十代・二十代の若年層の献血が少ないのが実情だ。五年後十年後には、現在献血を支えている方が輸血を必要とする年代になる。今後ますます若年層の献血が必要となつていく。少子高齢化は献血の分野にも重くのしかかってきている。』と述べられた。私たち一人一人の善意で助かる命があります。氏の講演タイトルにもあるように、献血で未来につなぐ命の輪を広げていきたいと参加者の多くは感じました。

夕方から行われた教育懇談会は、県高等学校長協会副会長の山本道雄羽水高校校長の乾杯の発声で始まり、和気藹々と各学校間で活発な情報交換が進み、最後は松村充高P連副会長の一本締めでお開きとなつた。



INFORMATION

ものづくり人材育成 修学資金制度の新設

県と公益財団法人ふくい産業支援センターでは、福井県のものづくり企業への就職を希望する理工系大学院生を対象にした奨学金制度を新設しました。

毎月六万円が修士課程（二年間）、博士課程（三年間）在学中に支給され、大学院終了後に、福井県のものづくり企業に七年間勤務した場合、返済が全額免除されます。

日本学生支援機構の奨学金など、他の奨学金を受給していく場合、返済が全額免除されます。日本学生支援機構の奨学金など、他の奨学金を受給していく場合、返済が全額免除されます。

この修学資金制度は、平成二十四年一月から貸与開始の予定です。お子さ

まが理工系の大学院に進まれる際に、

考えてみるのも良いのではと思ひます。

詳しく述べた。私たち一人一人の善意で助かる命があります。氏の講演タイトルにもあるように、献血で未来につなぐ命の輪を広げていきたいと参加者の多くは感じました。

県屋外広告美術協同組合から 立て看板の寄贈をうける

次に、「献血の現状について」～献血で未来につなぐ命の輪～と題して県赤十字血液センター涉外係長橋本正之氏の講演が行われた。氏は「献血と聞いて何を思い浮かべるか。」との質問から講演を始められ、「確かに献血で集められた血液は、病気や事故で手術

平成二十三年度

福井県高等学校PTA指導者研修会

本年度のPTA指導者研修会は、嶺北地区が九月十日(土)に福井県生活学習館で、嶺南地区が九月十七日(土)に三方青年の家でそれぞれ開催されました。

両地区とも、最初に「キラキラ輝く大人、キラキラ輝く子どもたち」という演題で、有せいわ箸店顧問の木越和夫氏による基調講演が行われました。木越氏は、一〇のキーワードをあげられました。それは、

・子どもの欠点は長所

・「ありがとうございます」言つてもらえる子ども

・人生の目的とは幸せになること

・成功の原則を教える

・不便、不自由、不親切が自分を磨く

・全てはやるか、やらないか

・「どうせ」でなく「せっかく」の生活を

・躾三原則が社会生活の基本

・夢を語る志が高い大人はキラキラと輝く

・役に立っている、挑戦している子どもはキラキラ輝く
の一〇です。



木越氏の講演を聞いて

美方高校PTA会長 田辺 治和

これらのキーワードを、参加者と対話しながら、せいわ箸店の商品を持ち合わせて、楽しいお話を聞くことができました。その中で私の印象の深いものは、「不便、不自由、不親切が自分で磨く」ことです。世の中のいたるところが便利、自由、親切なところばかりで、自分を磨くところがあまりありません。自分を苦手な場所、未経験な場所に置くことで、不自由で不便を知り、自分を磨くことができるのではないかというふうか。



嶺南地区

「進路指導とPTA」

（敦高二十一世紀塾S-トーグの実践）
敦賀高校PTA会長 池端 武司 氏

各校PTAの特色ある実践報告は、参考になることが多く、PTA活動の諸課題を共有できる有意義な研修会となりました。

「学校教育とPTA活動」

（学校との連携を目指して）
勝山高校PTA会長 安田 剛志 氏

次いで、各校の実践発表が行われました。

木越氏は、商売は知恵と工夫の積み重ねであり、子どものこともそのように育てて欲しいと説かれました。

木越氏は、商売は知恵と工夫の積み重ねであり、子どものこともそのように育てて欲しいと説かれました。



「国際社会と子どもの将来」

△シンポジウム△

十月八日(土)に県生活学習館で、平成二十三年度高P連ギャリアガイダンス研修会が開催され、二百名を超える会員が参加しました。最初に、株ニッピー代表取締役清水克彦氏による、「私の海外体験」、外から観た日本／世界のサポートー」と題する講演がありました。その後、講師の清水氏も交えて、「国際社会と子どもの将来」というテーマのもと、シンポジウムが行われました。パネリストの具体的な子育ての様子など、非常に参考になることが多く、参加した会員は多くの示唆を受けたのではないかと思います。

そのシンポジウムの一部を要約して次に掲載いたします。

コーディネーター
藤永 賢一（藤島高校PTA会長）
パネリスト
小南 正一（三国高校PTA会長）
赤澤由起子（武生高校PTA副会長）
新谷 正浩（敦賀工業高校PTA会長）
野瀬真由美（小浜水産高校PTA会長）

○子どもの紹介も兼ねて、最近何か問題点があれば。

小南・大学生の長男、高二の次男、中二の長女と三人の子を授かった。長女は、小学生の時は可愛い可愛いでよかつたが、中学生になるとさすが難しいなあというのが本音で、どう対処していくのかと最近悩んでいる。

赤澤・高三の長女、高二の長男、中二の次女の三人の子がいる。私は、長らくPTAに関わっていて、家を空けることも多いが、それを見て娘たちは「自分たちは絶対PTA役員にはならない」といつている。自分としては、多くの人と出会い、多くのことを身につけた。

新谷・高三の長男と高二の長女の年子で、もう一人子どもがいれば、敦賀の三つの高校に子どもを一人ずつやれたのにと思つたりしている。

野瀬・私も高三の長女と中二の長男の

子ども二人で、もう一人産んでおけば良かったと思うことも。長女は何もしない、のんびりした性格だが、長男はとてもよい子で、家のことは何でもしてくれる。

○子どもの将来の夢について、話しあつたことはあるか。

小南・長男は小さいときから家業を継ぐと言い続け、現在商業系の大手で勉強している。親として大変嬉しく思っている。次男は、日に日に言うことが変わっている。最近突然アメリカに行きたいと言い出した。目的は行つてから決めると言つているが、どう対応しようか迷つている。

赤澤・長女は、幼稚園の頃から歌手、ミュージカル俳優、医者と夢が変わつてきて、現在は患者と触れ合う仕事がしたいと看護士を目指して受験勉強中である。長男は小さい頃は俳優になりたいと言つていたが、今は警察官になりたいそうだ。次女は手先も器用で、オシャレに興味があり、最近は美容師か化粧品会社の仕事を

したいと言つている。歌手のように無理かなあと思つても、基本的には子どもの夢を応援している。

○日本は次第に縮こまつてきているようを感じるが、なぜか。

新谷・全国に出張の機会の多い私の姿を見て、「お父ちゃんの会社に入りたい」と言つたこともあつた。長男は電気系で学んでいるが、自動車関係に変わりたいと考えた時期もあつたが、三月の大震災を経て、今は電気系のまま進むようである。長女は小さい頃から絵が得意であり、美術系の大学に進みたいようで、積極的にオープンキャンパスに参加して情報収集をしている。「仕事に就いてからのコミュニケーションや人間関係で、自分を大きく伸ばしていくことができる」と子どもに話している。

清水・成熟国家日本では、多くの夢が

福井県高等学校PTA連合会 ギャリアガイダンス研修会 平成二十三年十月八日(土)

具現化された。そのため、夢や目標を持ちにくくなつてきている。しかし、今こそ成熟国家を維持できるか、衰退に向かうかの分岐点だ。「平和ぼけ」を克服していかなければならぬ。日本では、子どもの夢が親の夢である場合が多い。私の夢は私の夢でないといけない。日本では、大学資金や結婚費用まで親が出すことが多いが、「私」の夢にかかるお金は「私」が準備すべきだ。

○講演の中で、番組編成について、放送局に働きかけるべきだと言われたが、詳しくお聞かせ願いたい。

清水..福井で放映されている番組編成を調べたところ、バラエティ番組が非常に多かった。海外では、一般的に午後九時（一〇時）で番組が終了する国が多い。後は家族の時間ということで、放映している時間が少ない。視聴者に見てもらえない。福井の放送局にも、いい番組編成をしてもらえるように市民が声を上げることも大切だと思う。また、日本はマスメディアの情報を信じ込みすぎる傾向があるよう思う。自分はどう思ふかと考える必要があるので。

○父親として、子どもとどのようにコミュニケーションをとっているのか。

新谷..子どもの学年があがるにつれて、共通の話題を見つけにくく、会話は少なくなつてきている。そのため、

長男の友達が遊びに来た時など、積極的に声かけして、話題に入る努力をしている。年子のためか兄妹は仲が良く、兄から妹、妹から母、母から父へいろいろな情報が入つてきている。子どもに話しかけることができて、子どもに話しかけることができる。

小南..夕食の時間を大切にしている。自営業なので、夕食の時間はつい妻との取締役会議のようになるが、包み隠さず話をすることを子どもたちはしっかりと聞いている。そのことが長男が家業を継ぎたいと言つてくれることに繋がっているのか。妻は、子どもの前では私の悪口を決して言わない。

そのことが、私が子どもに何か言うときに大きなプラスになつてている。また、家族間での挨拶を大切にし、挨拶するときは必ず握手をするようにしている。

清水..家族と食事をすることができるかどうかは、国の豊かさを反映している。貧しければ、三食をとることができるが、一緒に食事をするどころではない。外国では、夕食は家族とすることが最優先されるので、日本

の「接待」のような文化はない。夜はフリーにして欲しいという気持ちをしている。夕食の時の子どもとの接点作りは非常に重要だ。子どもも話したいことがあるのだ。日本の、特に男性は仕事一〇〇%になつてしまいがちだが、海外ではプライベートが一番だ。子どもとのスキンシップもよくとつている。子どもが、この家族なら話をしてもみようかと思える場づくりが大切だ。「よく時間を作つてくれる」と感じれば、家族の絆は強くなる。

○「今こそ父親の出番」というタイミングがあると思う。私は、喫茶店にいやがる子どもを連れて行つて、二人で二時間ぐらい話をしたら、子どもは変わつた。ここぞという出番はどんなときだつたか。

野瀬..叱るのはほとんど私だが、たまに夫が爆弾を落とすと効果できめんである。夫と娘とは話をしないものと思っていたが、実は仲が良く、私がいないときに私にも言わないことも話しているようである。

赤澤..夫は忙しくて、家族そろつて夕食をとれるのは日曜日くらいだ。会社が休みの時、長女を学校へ送つていく車の中で、二人きりになるので、話をしているようだ。長男の高校受験先をどうするかという話になつたときに、父親と長男とで向き合つて話し合い、長男も納得して決めた。そのため、長男は今も楽しそうに学校に通つていて。

○県教委や高P連に特に言いたいこと、要望したいことはないか。

清水..日本人の挨拶や人間性、礼儀正しさは海外でも賞賛されている。このことは、日本の教育と家族の伝統が育んできたことだろう。守り続けて欲しい。人間には強みと弱みがある。学校と親とで、子どもの弱みを早く見つけてあげて、それをいい方向に向けてあげることができる環境作りが必要だ。クラス四十人の一番の子よりも、四十番目の子の良いところを見いだして欲しい。弱みを強みに変えることができるようなチーフワーク、PTAのネットワークを作り上げてほしい。



奥越の山々を前面に眺めながら、勝山高校に向かいました。恐竜化石発掘日本一の勝山。左手に恐竜博物館がきらりと光って見えてきました。



交通安全教室

おいしいこの勝山、学習もはかどるのではないかと感じました。

さて同校のPTA活動ですが、クラブ組織の見直しをし、平成二十二年度より新体制で組織しているとのことです。副会長を4名から3名に減らし、健全育成委員会をなくし三つの委員会にスリム化したことです。

総務委員会の取り組みは、交通安全指導、祭礼時の巡回活動、全国大会の出場等の激励、挨拶運動、教育講演会、制服リサイクルです。今年の教育講演会は「十代の生と性を考える」と題して前川ちよの先生の講演でした。祭礼時の巡回ができるのも地元勝山の中学校出身者が九十九%以上を占めるからでしょう。また、制服のリサイクルは、保護者から喜ばれる活動だと思いました。

（取材 福井農林高校PTA会長 木村徳明）

ぶじゅやましまへす!

この企画は、調査広報委員が直接「ちょっとおじゃま」し、伺った話の中から委員独自の感性でこれはと思われるものを紹介していくものです。

勝山高等学校

十一月のすがすがしい秋晴れの日、高校に向かいました。恐竜化石発掘日本一の勝山。左手に恐竜博物館がきらりと光つて見えてきました。

進学率九十%以上の進学校。空気のおいしいこの勝山、学習もはかどるのではないかと感じました。

広報委員会の活動は、年2回のPTAだよりもを発行することです。読者に読んでもらうための工夫として平成二十二年度からカラーリ印刷にし、写真を多く取り入れ、内容に変化を持たせているところです。どの学校も苦慮すると



教育講演会

進路対策委員会は、保護者対象進路説明会、就職や進学者への模擬面接、社会人講師による進路ガイダンスを行っています。

最後にPTAの課題をお聞きしたら、会員数の減少のため予算が厳しいとのことでした。本校も同じです。ただ、勝山高校は地元の高校ということで、保護者同士の共通理解や連携がしやすいという良さがあるということでした。

本校でもいろいろな行事を通して保護者の連携を図ることにしていますが、保護者同士の連携はとても大切だと感じています。

お忙しい中取材にご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

（取材 福井農林高校PTA会長 木村徳明）

福井農林高校

秋晴れの十一月三日、福井農林高校を訪問しました。当日は、「収穫の秋」にふれあいマート祭「農文祭」が行なわれおり、多数の

訪問者で賑わっていました。早速、生徒たちが収穫した新米の販売テントから、「お米いかがですか」との声がとんできました。そのほかにも学校で収穫した様々な農作物の販売テントが並んでいます。しかしお昼前の時間で、品切れが多く売り切れ直前でした。応対いただいた木村PTA会長から「農文祭」には即売目当てのお客様が多く、昼までには完売してしまう」とお聞きしました。五月から十二月までの毎週火曜日二時より「ふれあいマート」を開店しており、安くて新鮮で常連のお客様も多いそうです。このほか「農文祭」では生徒の発表やステージがあり、「餅つき」「豚汁」のふるまいなど農林高校らしい特色に溢れています。



福農ならでは講座

PTAにとつてもこの日は一大イベントの日で、名物の「手打ちそば」ふるまいコーナーを受け持ちます。この日来校者は無料でふるまう「そば」の数は、なんと九百食。前日から準備をはじめ、全て手作りです。大根やねぎは同校で収穫したもので、そば打ち

だけ多くの保護者に参加してもらえるよう努力され、活躍されていることに感銘を受けました。

（取材 高志高校PTA会長 林 利幸）

の道具も全部PTAに揃っています。当日は約八十名の保護者が協力します。

早朝から、ねぎを切り大根をおろし、だしも水を一切使用しないで大根の水分と醤油のみで作るそうです。「そば打ち」をしているお父さんも、まるで本職。この日のために練習会を開き、そのお蔭で「そば打ち」が趣味となつた方も多いそうです。お手伝いの方に聞いてみると「そば打ちの合間に、農文祭の見学をしたり、家庭では見られない我が子の姿が見られたり、大変有意義」との事でした。和気藹々と楽しむ皆さんの姿を拝見しながら、私もおぼれを一杯いただきました。熱い思いがこもっていて、とってもおいしかったです。お世話を頂いた稻葉先生をはじめ、PTAの皆さんに感謝申し上げます。

その他PTAの注目すべき活動として六月の保護者懇談会「ふれあいトーク」があります。「福農ならでは講座」と铭打ち、太鼓や庭の手入れ・バイオやお菓子講座など同校らしい内容で開催しています。できる

第六十一回 全国高等学校PTA連合会大会

「いのち輝け！」 人・夢・愛ひたむきに頑張る君たちを応援したい



八月二十五日(木)・二十六日(金)の二日間、全日本震災によって『いのち』ということばに対する思いがとても強くなつた。高校生たちは、『いのち』の大切さを実体として捉え、観念に陥ることなく、生きていく力を学んで欲しい。そのためにも、私たち自らが学び、保護者力をつけていくことが大切だ」と挨拶されました。その後、来賓祝辭に続き、PTA活動に功績のあつた個人・団体に表彰状が授与されました。

続いて、「生きる力をつける処方箋」と題して、立教大学教授香山リカ氏による基調講演がありました。精神科医ということで難しい話かと思つてはいましたが、具体的な事例を交えながらのわかりやすい講演で、「子どもを受け止めるためには、大人自身が自分の失敗などのマイナス部分を自分らしさと受け止められる心のゆとりが大切だ」と訴えられました。

午後からは、七つの分科会に分かれての研修でした。第一分科会「学校教育とPTA」では、武生東高校の橋本勝利PTA会長が「国際理解教育とPTA」～姉妹校交流受け入れ事業を通してのテーマで発表されました。二日目は、前旭山動物園園長の小菅正夫氏による記念講演で幕が明けました。演題は「命をつなぐ！」で、映像も使いながらの、実体験に基づく様々な動物の子育てのお話は、興味深く、心打たれるもので、あつという間に時間が過ぎてしましました。

引き続き閉会式が行われ、大会宣言を決議し、大会旗は次期開催県の和歌山県に引き継がれ、幕を閉じました。

◎おめでとうございます◎

第六十一回全国大会会長表彰

- ・団体 勝山南高校PTA
- 奥野治樹 前高P連副会長
- 津田正則 前高P連副会長
- 高氏克彦 前高P連事務局長

敦賀気比高校父母と教師の会
揚原安麿 前高P連副会長



十一月十七日(木)県教育委員会室にて 教育長との懇談会開催

当連合会からは理事会のメンバー十名、県教委からは広部教育長以下五名が参加して、懇談会が開催されました。

懇談会の内容は、①高校再編の進め方にについて②就職希望者の自己実現のための取り組みについて③高校生の学力向上の取り組みについて④公・私立の調和を図った入学定員について⑤県高P連創立五十周年記念行事、平成二十六年全高P連福井大会開催に対する協力・支援要請について等でした。

特に①については、単なる数合わせではなく、施設・設備面や学科の内容等、教育内容の向上が図れるような再編に努めていく。坂井地区の再編については、正式案はまだ示していないが、企業の二一

才やミスマッチの生徒への対応等も十分考慮していきたい。二州地区の再編については、嶺北へ生徒が流れる現状から、普通科の強化も図っていく必要があるとのことでした。

また、②については、就職内定率は二年続けて全国一位であるが、各校に配置した就職支援コーディネーターを中心に行きめ細かい支援を行つてある。就職が決定していない生徒については、卒業後も指導を続けており、その結果八月までにはほぼ一〇〇%を実現しているとのことでした。

③については、教員の授業力・指導力向上のために、校内研修の充実に力を入れている。また、生徒の授業理解度や満足度を知るために、アンケート調査を実施するとのことでした。

高校生オーストラリア研修 多くの経験・感動を携えて帰国

今回で十回目となつた当連合会主催のオーストラリア生活体験研修は、八月三日(水)から十七日(水)までの十五日間、福井工業高等専門学校の小寺光雄先生と福井養護学校の吉田昌代先生の引率のもと、クイーンズランド州ブリスベン郊外で実施されました。



事務局所在地
〒九八八八三 福井市下六条町一四一
TEL 〇七七六一四一四〇五三
FAX 〇七七六一四一四〇二三

なお、この研修の報告書(それぞれの生徒の体験をまとめたもの)は、各学校にありますので、興味・関心のある方はご覧下さい。

高校生総合保障制度

～昨年度の事故受付状況と保険金請求手続について～

一、事故受付状況について

二〇一一年度の事故受付状況ですが、事故件数は四七五件ご請求をいたしております、「昨年の件数より二十三件増加しております。件数の内訳ですが、後遺障害保険金といった重大な事故で保険をお支払いは一件報告されています。事故の内容ですが、最も多いのはスポーツ中の事故となっており、次いで自転車運転中の事故となっています。

この保障制度ではケガ以外に第三者への賠償事故も対象となっておりますが、昨年度は十八件報告されております。自転車に乗つていて歩行者や他の自転車と接触しケガをさせてしまうケースや、学校内の窓ガラスなど備品の破損が多く、また、誤つて友人の持ち物を壊してしまつたり、場合によつては人に怪我を負わせてしまふケースさえあります。もちろん故意に行つたものではありませんが、保険があるという事で役立つていています。最後に、ケガだけなく病気の入院を補償するプランに加入されている方もいらっしゃいますが、昨年度は十八件のご請求があり、一昨年度の三十件よりも二十一件減の請求件数となりました。疾病の内容は熱中症やヘルニア、急性胃腸炎などで入院され、ご請求をいたしております。昨今の医療費の増加傾向はご存知の通りです。今後は病気も含めた補償もお子様の為にお考え頂ければよりご安心かと思います。

二、保険金の請求方法について

（ケガをした場合）

①事故の連絡先フリーダイヤル **0120-013000-399**：24時間受付まで事故の状況につきましてご連絡ください。必要書類等につきましてご案内いたします。

②ケガによる入院が終わつた後傷害保険金請求書に必要事項をご記入の上、保護者の署名捺印をして指定の宛先までご郵送ください。その際診察券、治療費領収証（いずれもコピー可）を添付してください。だければ診断書は不要です。（但し、重大事故の場合には別途診断書をご手配いたたくこともあります。）

（賠償事故の場合）病気も補償されるプランに加入されている方で保険金請求をされる場合も右記フリーダイヤルにご連絡ください。お手続きについて別途、案内させていただきます。

（病気の場合）病気も補償されるプランに加入されている方で保険金請求をされる場合も右記フリーダイヤルにご連絡ください。お手続きについて別途、案内させていただきます。

（病気の場合）病気も補償されるプランに加入されている方で保険金請求をされる場合も右記フリーダイヤルにご連絡ください。お手続きについて別途、案内させていただきます。

1. 概要

- (1)傷害補償：加入した高校生の3年間、1日中24時間のケガや万一の場合について補償されます。※Sプランについては病気補償もされます。
- (2)賠償責任：高校生があやまつて他人にケガをさせたり、他人の物を壊したときの法律上の賠償責任が補償されます。
- (3)加入了した高校生だけでなく、同居の家族全員が利用できる「医療・健康相談」制度があります。（通話料無料）
- (4)この制度は、主として新入生を対象としています。

2. 内容（Sは病気補償+地震補償、Aは地震補償付き）

補 償 内 容	病気補償+地震補償			
	Sプラン	Aプラン	Bプラン	Cプラン
①賠償責任補償 (一事故あたりの支払限度額)	(最高) 5,000万円	(最高) 3,000万円	(最高) 3,000万円	(最高) 3,000万円
②育英費用補償	(一時金) 100万円	(一時金) 100万円	(一時金) 100万円	(一時金) 100万円
③学校管理下動産補償 (自己負担額1,000円)	契約年度毎に 最高 5万円	契約年度毎に 最高 5万円	契約年度毎に 最高 5万円	契約年度毎に 最高 5万円
④自転車事故による 傷害(ケガ)の補償	死亡保険金額 610.1万円 (475.5万円)	584.2万円 (462.6万円)	572.1万円 (459.7万円)	519.2万円 (429.7万円)
	後遺障害保険金額 (障害の程度によって)	約 18.3万円～610.1万円 (約14.2万円～475.5万円)	約 17.5万円～584.2万円 (約13.8万円～462.6万円)	約 17.1万円～572.1万円 (約13.7万円～459.7万円)
	手術保険金 (所定の手術の種類によって)	2.1・4.2・8.4万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.9・3.8・7.6万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.5・3・6万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)
	入院保険金日額 (180日限度)	6,100円	5,900円	5,500円
	通院保険金日額 (90日限度)	3,400円	3,200円	3,000円
	⑥傷害医療費用補償 (1事故あたり)	最高 50万円	最高 50万円	補償しません
⑤自転車事故以外の 傷害(ケガ)の補償	死亡保険金額 230.1万円 (167.5万円)	204.2万円 (154.6万円)	192.1万円 (151.7万円)	139.2万円 (121.7万円)
	後遺障害保険金額 (障害の程度によって)	約 6.9万円～230.1万円 (約5.0万円～167.5万円)	約 6.1万円～204.2万円 (約4.6万円～154.6万円)	約 5.7万円～192.1万円 (約4.5万円～151.7万円)
	手術保険金 (所定の手術の種類によって)	2.1・4.2・8.4万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.9・3.8・7.6万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)	1.5・3・6万円 (入院を伴う手術が対象)事故あたり1回)
	入院保険金日額 (180日限度)	2,100円	1,900円	1,500円
	通院保険金日額 (90日限度)	1,400円	1,200円	1,000円
	⑥傷害医療費用補償 (1事故あたり)	最高 50万円	最高 50万円	補償しません
⑦細菌性食中毒補償	補償します			
⑧熱中症補償	補償します			
⑨地震・噴火・津波補償	上記②⑤⑥の内容で補償します			
⑩病気の補償	疾病入院医療保険金日額 (1泊2日以上の入院・60日限度)	2,000円	補償しません	
	疾病手術医療保険金 (所定の手術の種類により)	2・4・8万円		
	疾病入院療養一時金 (60日以上の入院が必要と診断された場合)	20万円		
24時間医療健康電話相談	あり	あり	あり	あり
制 度 掛 金 (3年間一括)	35,000円	28,000円	20,000円	10,000円

制度掛金には制度運営費140円を含みます。上記保険金額・掛け金制度は、加入者1,000名以上の場合は1,000名未満の場合は保険金額が変更になります。詳しくはパンフレットにてご確認ください。

● お問い合わせ先・連絡先 ● 福井県高等学校PTA連合会「高校生総合保障制度」事務局

〒910-0006 福井市中央3-3-23 大同生命ビル5階 AIU保険会社内 TEL 0776(28)0144(月～金、9:00～17:00)

引受け保険会社/AIU保険会社(幹事)・あいおいニッセイ同和損害保険株・株式会社損害保険ジャパン・三井住友海上火災保険(株)